

# 「沖縄の振興についての調査 審議結果報告」について



Iはじめに  
沖縄振興開発特別措置法の期限及び第3次沖縄振興計画の計画期間満了まで残すところあと一年足らずとなっています。

ポスト三次振計の取組については、平成十一年三月二十五日に開催された第三十七回沖縄振興開発審議会において、「これまでの沖縄振興開発計画に基づいて実施されてきた諸施策等の現状と課題について調査審議する」とが決定され、具体的な調査、審議の方法及び検討事項が同審議会総合部会に付託されました。

これを受け、同年九月三十日、

総合部会は今後の調査審議の進め方を決定するとともに、総合部会下に学識経験者等を構成員とする専門委員会が設置され、同年十月四日から調査審議を開始しました。

その後、専門委員会では、概ね一年程度、述べ八回にわたって、沖縄の社会経済状況、所得及び経済構造、人口及び雇用、産業振興、社会資本の整備、人材育成、国際交流拠点の形成等について調査審議を進め、平成十二年十月三十一日には中間報告を取りまとめました。

中間報告に引き続き、平成十二年十月三十一日に開催された第四回総合部会の決定を受け、これ

まで概ね八ヶ月六回にわたりて今後の沖縄振興の在り方、社会経済の将来展望、沖縄の産業振興等主要施策課題について調査審議を進めてきました。

専門委員会としては、中間報告を踏まえつつ、その後の調査審議をもとに、今般、「沖縄の振興についての調査審議結果報告」を取りまとめ、総合部会に報告したところです。

全体の構成としては、1「沖縄振興開発の現状」、2「三次振計の評価」、3「今後の沖縄振興の在り方」、4「今後の沖縄振興を進めるに当たつて検討すべき課題と方向性」となっています。ここでは、「沖縄の振興についての調査審議結果報告」の主な概要について紹介します。

## II 報告の概要

### 1 「沖縄振興開発の現状」

人口、雇用等社会経済状況、産業の振興、南の交流拠点の形成、社会資本整備等、沖縄の振興開発の現状について記述。

2 「三次振計の評価」

三次振計の評価については、次のとおり。

昭和四十七年に沖縄が本土に復帰して以来、三次にわたる振計に基づき、六兆円をこえる沖縄振興開発事業費が投入され、沖縄の振興開発が進められてきた。その結果、施設整備面を始めとして次第に格差が縮小するなど着実に成果。しかしながら、一人当たり県民所得の全国比が約七割、失業率が全国の約二倍に示されているように沖縄の産業及び経済は全体として厳しい状況。また、財政依存度も全国ベースの約二倍に達するなど、財政による需要への依存度が高い状況。

このような状況に鑑みれば、自立的発展の基礎条件の整備は未だ十分とは言えず、今後、沖縄の優位性を活かして、観光・リゾート産業や情報通信産業をはじめとする

産業の一層の振興と雇用の確保を図り、自立型経済を構築していくことが大きな課題。

さらに、沖縄が広く我が国の経済社会及び文化の発展に寄与する特色ある地域として整備されてきているかについては、諸施策が講じられてきたものの、未だ十分と言い難い状況。

今後は、特に国際的地位を高めつつあるアジアとの関係をも踏まえつつ、諸施策を推進していくことが必要。

3 「今後の沖縄振興の在り方」

(1) 沖縄の地域特性への再認識

二十一世紀における魅力ある沖縄の創造は、なお存在する不利性の克服を図っていくとともに、沖縄の地域特性を新たな時代において更に引き立て最大限に活用していくことにより、切り拓かれていくもの。沖縄の将来を考えるに当たっては、こうした地域特性への再認識が必要。

地理的特性

このように、地理的特性の整備は未だ十分とは言えず、今後、沖縄の優位性を活かして、観光・リゾート産業や情報通信産業をはじめとする

### 2 時代潮流の中での沖縄

二十一世紀を迎えた今日、世界は大変革のうねりの中にある。今後の世界的潮流としては、グローバリゼーション、IT革命、環境問題に対する意識の高まりなどがあげられる。この巨大な潮流に乗じ、地域特性を踏まえて沖縄がその潮流を活用するという視点から、今後の沖縄振興の在り方を考えいくことが必要。

国境を超えた地域の連携・交流世界・アジアで進むIT革命環境共生、循環型社会への移行少子・高齢社会の到来分権社会の地域づくり

(2) 時代潮流の中での沖縄

これまで三次にわたる振計においては、「沖縄の特殊事情」に鑑み、その目標の一つとして「本土との格差是正」を掲げ、とりわけその不利性の克服に主眼を置いて、沖縄の振興開発を進めてきた。その結果、施設整備面を始めとして次第に格差が縮小するなど、着実に成果を上げてきていることは、2の評価で述べたところ。

しかしながら、沖縄の特殊事情や不利性を背景として、沖縄がお引き継ぎ多くの課題を抱えていることも事実。



点が重要。

- ・観光リゾート地としての沖縄の役割をさらに広げて、「国民の総合的な消費の場」の構築や経済社会システムのIT化など、モデル的な取組を他の地域に先駆けて実施していくことが重要。
- ・環境共生、循環型社会システムの構築や経済社会システムの「体験、交流の場」の提供が必要。
- ・アジア太平洋地域における連携・交流の活発化を産業の活性化に活かすとともに、コンベンションをはじめ、内外から人々が集い、交流する場としての拠点の形成が重要。
- ・アジア太平洋諸国との地域づくり等に貢献する役割を我が国の中で積極的に担っていくことも重要。

我が国及びアジア・太平洋地域の発展に寄与する特色ある地域としての整備

特性を活かした地域の均衡ある発展と広域連携の実現

#### (1) 優位性を活かした産業振興による自立型経済の構築

4 「今後の沖縄振興を進めるに当たって検討すべき課題と方向性」

##### 観光・リゾート産業がリーディング産業としての地位を確立し、

情報通信産業がリーディング産業として発展を期待される状況。地域間競争の中で、沖縄の産業の持つ競争力やポテンシャル、さらには今後の産業展開の可能性等を見極めて、優位性を活かした産業振興を図っていくことが必要。

あわせて、産業間の連携や波及効果にも留意した取組が必要。

情報通信産業がリーディング産業として発展を期待される状況。地域間競争の中で、沖縄の産業の持つ競争力やポテンシャル、さらには今後の産業展開の可能性等を見極めて、優位性を活かした産業振興を図っていくことが必要。

##### 観光・リゾート産業

観光・リゾート産業がリーディング産業としての地位を確立し、情報通信産業がリーディング産業として発展を期待される状況。地域間競争の中で、沖縄の産業の持つ競争力やポテンシャル、さらには今後の産業展開の可能性等を見極めて、優位性を活かした産業振興を図っていくことが必要。

海と自然を活かした海洋性リゾートは今後も柱。宿泊施設、シヨツピング施設等の一層の充実とともに、面的に広がりのあるリゾート地としていくことが必要。

海と自然を活かした海洋性リゾートは今後も柱。宿泊施設、シヨツピング施設等の一層の充実とともに、面的に広がりのあるリゾート地としていくことが必要。

##### (4) 沖縄振興にあたっての基本的視点

- ・世界に開かれた交流拠点の形成」といった将来像がみえてくるので重要。
- ・こうした様々な取組が沖縄において行われることによって、「自立に向けた持続的発展の実現」や「世界に開かれた交流拠点の形成」といった将来像がみえてくるので重要。

##### (5) 沖縄振興の基本方向

- ・参画と責任選択と集中連携と交流

##### と民間主導の自立型経済の構築

国民の価値観の変化等の中で、国民の総合的な保養の場を形成していくことが必要。それにふさわしい美しい地域環境の形成も不可欠。

沖縄の自然、文化、産業等を活かした工芸アート、ブルーリズムなど体験、交流する場と繩像を求めて沖縄の振興を進めていくこともまた求められている。沖縄の地域特性を発揮していくことの観点からは例えば次のような

・離島、過疎地域等の活性化。  
他方、二十一世紀に入った今日、時代潮流を踏まえるとともに、沖縄の地域特性を活かし、新しい沖

・米軍施設・区域の整理・統合・縮小と返還跡地の利用の推進。

・産業の振興、雇用の確保が特に大きな課題。

・交通・物流への適切な対応をはじめ、今後とも社会資本整備を進めていく必要。

・産業の振興、雇用の確保が特に大きな課題。

・交通・物流への適切な対応をはじめ、今後とも社会資本整備を進めていく必要。

・産業の振興、雇用の確保が特に大きな課題。

・交通・物流への適切な対応をはじめ、今後とも社会資本整備を進めていく必要。

・産業の振興、雇用の確保が特に大きな課題。

##### 情報通信産業

IT産業の集積へ向けて集中した取組を行っていくとともに、今後の社会のシステムを先取りした環境を沖縄において早急に作り上げていくことが必要。

・近隣諸国との関係に留意しつつ、大容量の情報通信ネットワークや情報通信関連施設等の整備を推進することが必要。

・情報通信産業の立地を促進するため、インキュベート施設の整備、研究開発の支援などが必要。

・コールセンターの高度化を図るとともに、コンテナソフトウェア関連企業を戦略的に振興していく必要。

・企業のデータセンター、バックアップセンターの沖縄への設置のいく必要。

##### 農林水産業

・亞熱帯の特性を最大限に活かした特色ある沖縄ブランドの確立が必要。

・バイオテクノロジーの活用によ

・亞熱帯の特性を最大限に活かした特色ある沖縄ブランドの確立が必要。

・IT産業の集積へ向けて集中した取組を行っていくとともに、今後の社会のシステムを先取りした環境を沖縄において早急に作り上げていくことが必要。

・情報通信産業の立地を促進するため、インキュベート施設の整備、研究開発の支援などが必要。

・コールセンターの高度化を図るとともに、コンテナソフトウェア関連企業を戦略的に振興していく必要。

・企業のデータセンター、バックアップセンターの沖縄への設置のいく必要。

##### 中小企業

・技術力の向上、情報化の推進、

・人材育成等多面にわたる中小企業への支援を強化していく必要。

・沖縄産業支援センターを中心と

・技術革新、さらには創業の促進を図つていく必要。

・技術力の向上、情報化の推進、

・人材育成等多面にわたる中小企業への支援を強化していく必要。

・沖縄産業支援センターを中心と

・技術革新、さらには創業の促進を図つていく必要。

##### 農林水産業

・可能性。金融関連産業の集積に向

けた取組も期待。

・産業の情報化、電子自治体等の

・構築、ITを活用した遠隔医療な

・ど、経済社会システム全般にわた

・りIT化を進める先進的な取組を

・積極的に行つていいくことが必要。

・必要とされる分野、技術レベル

・に的確に対応した人材の育成、確

・保が必要。

##### 製造業

・沖縄の地域資源を活

・用した健康食品産業

・等の振興を図つてい

・くことが必要。

・沖縄独自の文化・伝統を維持・

・継承し、さらに発展させてい

・く産業であるという視点に立

・て伝統工芸産業の振興を図

・していくことが必要。

・自由貿易地域制

・度、特別自由貿易地域

・制度を効果的に活用した企業

・立地の一層の促進が必要。

##### 中小企業

・技術力の向上、情報化の推進、

・人材育成等多面にわたる中小企業への支援を強化していく必要。

・沖縄産業支援センターを中心と

・技術革新、さらには創業の促進を図つていく必要。

・技術力の向上、情報化の推進、

・人材育成等多面にわたる中小企業への支援を強化していく必要。

・沖縄産業支援センターを中心と

・技術革新、さらには創業の促進を図つていく必要。

##### 観光・リゾート産業

・亞熱帯性の美しい

・海と自然を活かした

・海洋性リゾートは今

・後も柱。宿泊施設、シ

・ヨッピング施設等の一

・層の充実とともに、面的

・に広がりのあるリゾート

・地としていくことが必

要。

##### 農林水産業

・新品种の育成や農業技

・術の開発及び亞熱帯農業

・試験研究の機能強化が必

・要。

・沖縄の地域資源を活

・用した健康食品産業

・等の振興を図つてい

・くことが必要。

##### 製造業

・沖縄の地域資源を活

・用した健康食品産業

・等の振興を図つてい

・くことが必要。

・沖縄独自の文化・伝統を維持・

・継承し、さらに発展させてい

・く産業であるという視点に立

・て伝統工芸産業の振興を図

・していくことが必要。

・自由貿易地域制

・度、特別自由貿易地域

・制度を効果的に活用した企業

・立地の一層の促進が必要。

##### 中小企業

・技術力の向上、情報化の推進、

・人材育成等多面にわたる中小企業への支援を強化していく必要。

・沖縄産業支援センターを中心と

・技術革新、さらには創業の促進を図つていく必要。

・技術力の向上、情報化の推進、

・人材育成等多面にわたる中小企業への支援を強化していく必要。

・沖縄産業支援センターを中心と

・技術革新、さらには創業の促進を図つていく必要。

##### 観光・リゾート産業

・亞熱帯性の美しい

・海と自然を活かした

・海洋性リゾートは今

・後も柱。宿泊施設、シ

・ヨッピング施設等の一

・層の充実とともに、面的

・に広がりのあるリゾート

・地としていくことが必

要。

##### 農林水産業

・新品种の育成や農業技

・術の開発及び亞熱帯農業

・試験研究の機能強化が必

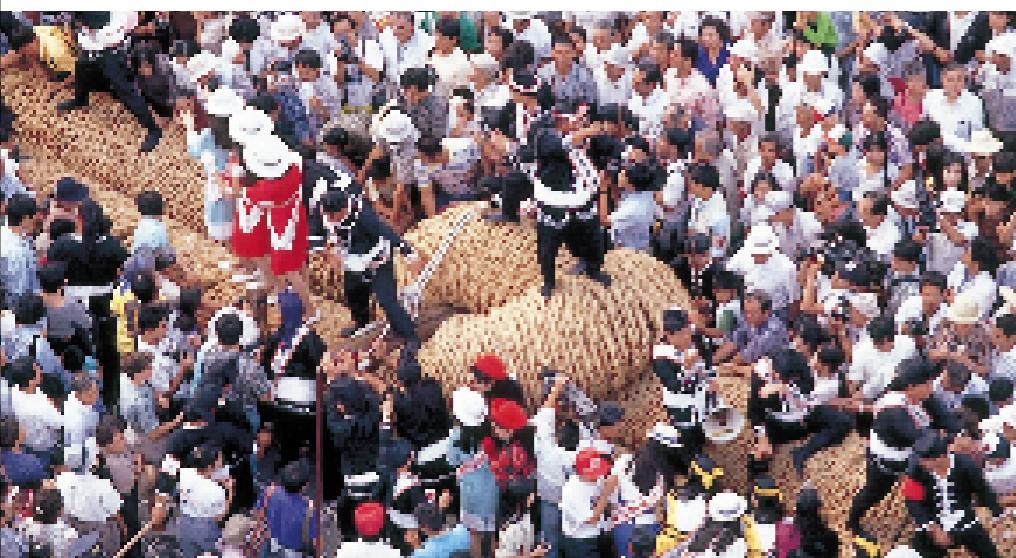
・要。

・沖縄の地域資源を活

・用した健康食品産業

・等の振興を図つてい

・くことが必要。



中心市街地については、産業整備の充実、港湾、情報基盤の整備が必要。コンベンション機能の充実、国際会議の招致に向けた取組、コンベンション関連産業の育成等が必要。

(2) アジア・太平洋地域における交流拠点の形成

点から空港、港湾、情報基盤の整備が必要。コンベンション機能の充実、国際会議の招致に向けた取組、コンベンション関連産業の育成等が必要。

中心市街地については、産業整備とまちづくりが一体となつた活性化の取組を進めていくことが必要。

（3）沖縄振興の鍵を握る「人材の育成・交流」

交流拠点を支える基盤整備の視点から空港、港湾、情報基盤の整備が必要。コンベンション機能の充実、国際会議の招致に向けた取組、コンベンション関連産業の育成等が必要。

（4）潤いのある美しい沖縄づくり

中心市街地については、産業整備とまちづくりが一体となつた活性化の取組を進めていくことが必要。

（5）戦略的な社会資本整備

中心市街地については、産業整備とまちづくりが一体となつた活性化の取組を進めていくことが必要。

（6）均衡のとれた活力ある地域づくり

中心市街地については、産業整備とまちづくりが一体となつた活性化の取組を進めていくことが必要。

（7）米軍施設・区域の整理・統合・縮小と返還跡地の利用による県土構造の再編

中心市街地については、産業整備とまちづくりが一体となつた活性化の取組を進めていくことが必要。

（8）潤いのある美しい沖縄づくり

中心市街地については、産業整備とまちづくりが一体となつた活性化の取組を進めていくことが必要。

（9）広大な米軍施設・区域は、土地利用上大きな制約となるとともに、

（10）課題、「ゼロエミシヨン・アイランド沖縄」構想が策定されたよう、環境保全のみならず、環境との共生や循環型社会の形成の観点に立って、諸施策を開拓していくことが必要。

（11）課題、「ゼロエミシヨン・アイランド沖縄」構想が策定されたよう、環境保全のみならず、環境との共生や循環型社会の形成の観点に立って、諸施策を開拓していくことが必要。

（12）課題、「ゼロエミシヨン・アイランド沖縄」構想が策定されたよう、環境保全のみならず、環境との共生や循環型社会の形成の観点に立って、諸施策を開拓していくことが必要。

（13）課題、「ゼロエミシヨン・アイランド沖縄」構想が策定されたよう、環境保全のみならず、環境との共生や循環型社会の形成の観点に立って、諸施策を開拓していくことが必要。

（14）課題、「ゼロエミシヨン・アイランド沖縄」構想が策定されたよう、環境保全のみならず、環境との共生や循環型社会の形成の観点に立って、諸施策を開拓していくことが必要。

（15）課題、「ゼロエミシヨン・アイランド沖縄」構想が策定されたよう、環境保全のみならず、環境との共生や循環型社会の形成の観点に立って、諸施策を開拓していくことが必要。

（16）課題、「ゼロエミシヨン・アイランド沖縄」構想が策定されたよう、環境保全のみならず、環境との共生や循環型社会の形成の観点に立って、諸施策を開拓していくことが必要。

（17）課題、「ゼロエミシヨン・アイランド沖縄」構想が策定されたよう、環境保全のみならず、環境との共生や循環型社会の形成の観点に立って、諸施策を開拓していくことが必要。

（18）課題、「ゼロエミシヨン・アイランド沖縄」構想が策定されたよう、環境保全のみならず、環境との共生や循環型社会の形成の観点に立って、諸施策を開拓していくことが必要。

（19）課題、「ゼロエミシヨン・アイランド沖縄」構想が策定されたよう、環境保全のみならず、環境との共生や循環型社会の形成の観点に立って、諸施策を開拓していくことが必要。

（20）課題、「ゼロエミシヨン・アイランド沖縄」構想が策定されたよう、環境保全のみならず、環境との共生や循環型社会の形成の観点に立って、諸施策を開拓していくことが必要。

